



無料です!

健康診査を受診しましょう

生活習慣病やその予備軍を早期発見し、必要に応じて早期治療や予防につなげていくことで被保険者の健康の保持・増進するために実施します。

広域連合では、健康診査を市町村に委託して実施しており、年度中に1回お住まいの市(区)町村で受診することができます。実施方法及び実施期間は市町村によって異なりますので、お住まいの市(区)町村からの健康診査のご案内をご確認いただくか健診担当窓口までお問い合わせください。

健康診査の検査内容(無料)

基本的な健診項目(全員に実施される項目)

※広域連合で決めた検診項目(下表)は無料で受けられます。市町村が別に実施している、がん検診や独自の検診は、自己負担が必要になる場合があります。

検査項目	検査の内訳	検査の内容
診察等		視診、触診、聴打診などを行います。
問診		現在の健康状態や生活習慣(飲酒、喫煙の習慣など)、服薬歴などを伺い、検査の参考にします。
身体測定		身長、体重の測定、肥満度の指標であるBMIを計算します。
血圧測定		血圧を測り、循環器系の状態を調べます。 高血圧は動脈硬化の原因となるので注意が必要です。 ※1回の血圧測定で血圧が高かったからといって高血圧とはいえません。定期的にチェックをしていくことが必要です。
血中脂質検査	中性脂肪	肥満や肝脂肪、動脈硬化の原因について調べます。
	LDLコレステロール	動脈硬化を引き起こす原因となるLDLコレステロールがどれくらいあるかを調べます。
	HDLコレステロール	動脈硬化を防ぐ作用のあるHDLコレステロールが、どれくらいあるかを調べます。
肝機能検査	AST (GOT) ALT (GPT)	肝臓や心臓の異常を発見します。
	γ-GTP (γ-GT)	アルコール性肝障害や胆管の病気について調べます。膵臓の病気、心筋梗塞などのときも高い数値を示します。
血糖検査	空腹時血糖	空腹時の血液に含まれるブドウ糖の量を調べます。基準値より高い場合は糖尿病、低い場合は副腎機能低下症、肝硬変などの病気が疑われます。
	ヘモグロビンA1c (HbA1c)	血液に含まれるHbA1cの割合を調べることで1~2か月前の血糖値の状態が分かります。基準値より高い場合は糖尿病、低い場合は肝硬変などが疑われます。
尿検査	蛋白	腎臓などの異常を見つけるための検査です。
	潜血	腎臓、尿管、膀胱、尿道などの異常を見つける検査です。
	糖	尿糖が陽性になった場合には、糖尿病が疑われます。

詳細な健診項目(一定の基準を満たし、医師が必要と認めた場合に実施)

検査項目	検査の内訳	検査の内容
貧血検査	赤血球数	血液中の赤血球数を調べる検査です。
	血色素数(ヘモグロビン濃度)	血液中の赤血球の中に含まれる血色素(ヘモグロビン)の量を調べる検査です。
	ヘマトクリット数	一定量の血液に含まれる赤血球の割合を調べる検査です。
心電図 (12誘導心電図)		波形の異常により種々の不整脈・心肥大・心筋症・狭心症・心筋梗塞などの病気を疑うことができます。
眼底検査		網膜血管の状態や出血の有無を見ることによって、高血圧や糖尿病、動脈硬化の原因となる高脂血症や高尿酸血症などを発見することができます。

お薬代節約のご参考に!

ジェネリック医薬品
利用差額通知を
送付しています

広域連合では、被保険者のみなさんのお薬代の軽減と医療保険財政の改善を目的に、お薬をジェネリック医薬品(後発医薬品)に切り替えた場合に軽減できる自己負担額をお知らせしています。

次の条件すべてに該当するかたにお知らせしています

1. 生活習慣病や慢性疾患等のお薬を長期服用されているかた
2. ジェネリック医薬品に切替えた場合に1か月当たりの自己負担額の軽減が概ね200円以上のかた
3. 外来診療によりお薬を受け取っているかた

通知書の自己負担相当額について

1. 自己負担相当額はお薬にかかった金額のみです。実際の支払額には、調剤料等が含まれていることがあります。
2. ジェネリック医薬品は、1つの先発医薬品に対して複数存在する場合があります。価格も違うため実際の軽減額に幅がありますので目安としてください。

●注意 病院でお薬を受け取る院内処方から、薬局でお薬を受け取る院外処方に替えると、処方せん料等が加算されるため、ジェネリック医薬品に替えても実際の支払額が高くなる場合があります。



お問い合わせ先 給付管理課 ☎043-216-5013